

# 沿道美化によるみちづくりの状況は

市外からの来訪者だけでなく、市民の方も快適に利用できるよう沿道整備を進める



村上 誠  
自由民主党田原市議団

## 交通安全への取り組みについて

- 問** 交通公園での交通安全教室のカリキュラムについて指導員からの要望は。
- 答** 交通指導員の意見や保育園からの要望を取り入れてカリキュラムを改善している。
- 問** 日よけの場所がない交通公園の炎天下対策は。
- 答** 開催時期や実施時間を工夫し、さらに建物の日陰などを使い学習や休憩を行っている。
- 問** 交通事故に対処するなどの交通安全指導ができる施設が必要では。
- 答** さまざまな形状の道路や信号機を備え、交通安全教育全般を学べる大規模な施設は、公共施設適正化の観点からも困難である。

## 日本一の花の生産地をアピールするための沿道美化・道路整備について

- 問** 沿道美化によるみちづくりの状況は。
- 答** 主要幹線道路は定期的に年2回、交通安全上危険箇所は別途除草作業を実施。市外からの来訪者だけでなく、市民の方も快適に利用できるよう沿道

環境の維持管理を進める。

- 問** 除草の方法や時期、回数を増やすなど検討できないか。
- 答** 除草作業方法や時期、効果的な回数を検証する。国・県道は、草刈り回数を増やしてもらうよう県に要望する。
- 問** 日本一の花の生産地をアピールする沿道美化の取り組みは。
- 答** 奨励花壇と沿道花壇の制度（※）や花苗の無料配布を実施。また、市民緑花まつりで市民の緑化に対する意識づけを行っている。
- 問** 日本の道100選にも負けない道への取り組みは。
- 答** 主要道路沿いの花壇に植栽を実施。また、奨励花壇や沿道花壇のさらなる充実を図る。

（※）奨励花壇：沿道や公園などで10㎡以上の花壇を管理する団体に花苗の無料配布（年2回）と補助金を交付  
沿道花壇：沿道の花壇やプランターを管理する個人や団体に花苗を無料配布（年2回）

## 公金の管理及び運用について

- 問** 基金の運用方法は。
- 答** 基金ごとに市内の金融機関を対象とした入札を実施し、おおむね1年間の大口定期で運用している。
- 問** 金融機関が破綻した際のペイオフ対策は。
- 答** 平成17年4月に、元本が保証される無利息型の決済用普通預金に変更し、ペイオフ対策をした。歳計現金及び歳入歳出外現金は、指定金融機関である三菱UFJ銀行の経営状況が安定していることや預金金利の上昇により、平成26年4月から決済用普通預金から利息の付く普通預金へ変更した。

今後、公金の運用について、具体的にどのような方針で臨むのか  
田原市資金管理運営委員会を定期的に開催することで、確実かつ効率的な運用を行っていく



岡本 禎稔  
自由民主党田原市議団